

課題検討依頼事項についての中間報告

“泉区の地域自治の取組”のこれまでの振り返りと
これからに向けて

令和元年 9 月 26 日

泉区地域協議会

令和元年度泉区地域協議会第1回定例会にて、泉区長より「“泉区の地域自治の取組”のこれまでの振り返りとこれからのに向けて」というテーマで、課題検討の依頼を受けた。

今回対象とした課題は、横浜市18区の中でも泉区のみという特色ある取組であり、泉区政の根幹をなす重要なテーマであると考え。そのため、当協議会では時間をかけて現状や課題の把握、今後の方向性について議論を進めるべきと考え、これまで行ってきた委員等へのアンケート結果及び課題検討部会が出された意見などを、本日の定例会で中間報告する。

なお、今後は論点を整理したうえで更なる議論を重ね、本年12月を目途に最終的な意見書として区長へ提出する予定である。

1 泉区の地域自治の取組全般について

- 地域の課題解決には行政との連携は不可欠であり、地域協議会は区長の私的諮問機関と位置づけており、非常に大切なものであるため、一部見直ししながら発展的に継続させていきたい。
 - 連合自治会町内会、地区経営委員会、地区社会福祉協議会等の組織が複雑化しており、泉区内12地区で活動内容が異なるのは止むを得ない。ただし、各地区経営委員会で出された課題を地域協議会の場で意見交換し、その内容を各地区に持ち帰り、情報共有及び各地区の参考になるものはしっかり反映させていきたい。
 - 取組の理念はしっかりしている。連合自治会町内会、地区社会福祉協議会等の各種団体の縦割感を強く感じている委員が多い。各種団体を掛け持ちしている委員も多いので、「ヨコ」の連携を意識し、お互いに関心を持ち、協働して事業に取り組むための仕組づくりが大切と感じている。
- 地域自治の取組は継続することを前提とし、見直すべき項目や各種団体との連携にかかる課題・方法について議論を進めていく。

2 泉区地域協議会について

- 泉区地域協議会は、「課題検討部会」「事業評価部会」「情報交換会」の3部会で構成されているが、期限を決めて検討することは、議論がいたずらに長引くことなく、効率的に議論できるので継続していただきたい。
- 「課題検討部会」においては、区全体（地域と行政）が課題と感じていることを12地区で意見交換することに意義がある。人口減少傾向にある泉区を活性化させるための議論は有意義であり、意見交換のしがいがある。
- 「事業評価部会」については賛否が分かれた。事業評価については、その事業に対する知識をしっかり持ち合わせていないと難しいとした意見や、区の事業や行政の予算の仕組みを知ることのできる貴重な機会であると、前向きに捉える意見もあった。

- 「事業評価部会」については、実施時期、内容、運営手法を含めて次回以降の部会で引き続き再考する必要があると感じている。
 - 「情報交換会」については、「地域の状況が違えば参考にならない」との意見もあったが、「活動のマンネリ化防止のために他地区の情報を得たい。」「交流の意味も込めて意見交換を含めた他自治体（他区）の取組も聞いてみたい。」「年1～2回では少ない。情報交換会で他地区の事例を学び、取り入れられることは取り入れることが課題解決である。」とした肯定的な意見が多かった。
 - 泉区地域協議会自体の知名度が低く、一般の区民の方々には通じていない。広く区民に周知させるための仕組づくりも大切である。
- 地域協議会の各部会の運営方法についての検討や区民の方々に広く周知する方法について議論を進めていく。

3 地区経営委員会について

- 地区経営委員会の役割である「地域課題の発見と整理」を各地区で行っているか、という意見については、課題解決のための実行部隊として活動する地区もあれば、課題の認識はされているが、実践的な取組はできていないという地区もある。担い手不足も関連している。
 - 地区経営委員会が地区連合自治会から完全に独立している地区もあれば、担い手不足から実質連合自治会の一組織として機能している地区もあり、うまく連携している地区もある。効果的・効率的に実施することが重要である。うまく連携している地区の取組みを聞いてみたい。
 - 地区経営委員会の委員は、各地域での課題を整理した内容を地区連合自治会町内会等の各種団体にフィードバックすることを通じ、「顔の見える関係」を醸成していくことも大切である。
- 各地区の事情を踏まえつつ、それぞれが効果的・効率的に運営するための方策について議論を進めていく。

4 その他

- 区から地区経営委員会への補助金が12地区一律であり、予算不足で活動が停滞している地区も多い。区からの補助金が3年で終了した後のことを考えると、思い切った活動ができない。
 - 毎年、担い手不足の話はあちらこちらから出ている。「ちょこっとボランティア」のような区民を増やすことも考えていかなければならない。
- 各地区の活動が活発に行われるための人的・財政支援についての議論を進めていく。